

市町村名 (市町村コード)	氷見市 (162051)	
地域名 (地域内農業集落名)	神代地区 (大浦集落、堀田集落、神代集落、蒲田集落、矢方集落)	
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年12月26日 (第2回)	

大浦、堀田、蒲田、矢方地区では集落内の耕作放棄が有れば中心経営体が請け負う意思を示しているが、営農組織の構成員に次代を担う後継者が少ないことが課題である。神代地区は10.3haが個人作付けであり、耕作者も半数以上が70歳以上の高齢者で後継もいないケースが多く、対応が急務である。

大浦、堀田、蒲田、矢方集落の農地利用は、7割以上が中心経営体に集約されている。神代集落を担う既存の中心経営体はこれ以上の経営拡大が困難であるため、入作を希望する認定農業者ほか新規就農者の受入れを促進していく。蒲田地区に参入した他地域からの認定農業者が神代地区においても圃場を拡大していく予定である。

区域内の農用地等面積	202ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	202ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

農業振興地域農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域

(1) 農用地の集積・集団化の方針
認定農業者へ優先的に農地を集積していく。
(2) 農地中間管理機構の活用方針
農地バンクへの貸付けを進め、担い手への農地の集積・集約化を推進する。
(3) 基盤整備事業への取組方針
土地改良施設の老朽化や能登半島地震により、基盤整備を必要とする農道や施設がある。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
地域の担い手の経営体制が維持できるよう地域内での後継者の育成に取り組むとともに、地域外からの認定農業者の参入を促進する。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
地区内の作業の効率化・省力化を進めるためにドローンなどによる防除作業をはじめ農作業委託の活用を図っていく。

	①鳥獣被害防止対策		②有機・減農薬・減肥料		③スマート農業		④輸出		⑤果樹等
	⑥燃料・資源作物等	○	⑦保全・管理等		⑧農業用施設		⑨耕畜連携		⑩その他

【選択した上記の取組方針】

多面的機能支払交付金などを活用し、農地の保全や農業施設の保全に努める。